

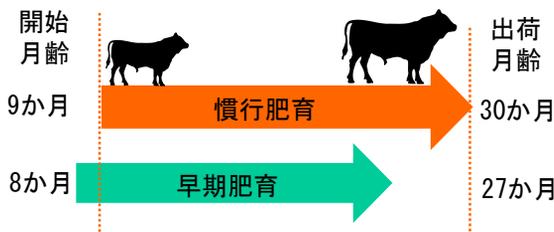
# 枝肉重量に優れた赤身牛肉を生産するための黒毛和種早期肥育技術

畜産研究所

従来の霜降り牛肉に加えて、近年では健康志向による赤身牛肉の需要が高まっています。そこで、黒毛和種肥育牛において、**ビタミンAコントロール**（※）を行わず**肥育期間を短縮**しても枝肉重量に優れた赤身牛肉の生産が可能であることを実証したのでご紹介します。

※牛肉の霜降り度を増すため、肥育中の一定期間ビタミンAの少ない飼料を与え、牛をビタミンA不足状態にすること。

## 肥育期間



- ◆ 慣行よりも開始を1か月・出荷を3か月早めた
- ◆ 増体系の産子で早期肥育を行った

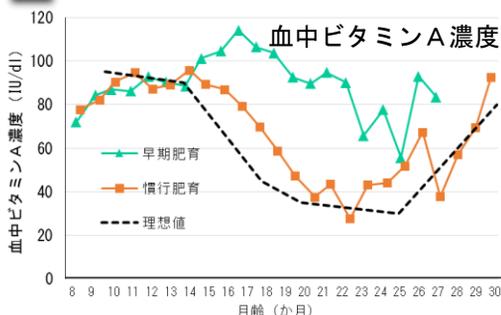
## 給与メニュー

慣行肥育：   
 早期肥育：

		肥育前期	肥育中期	肥育後期
濃厚飼料	配合飼料			
	ビタミンA添加剤			
粗飼料	乾草			
	稲わら			

- ◆ 早期肥育ではビタミン剤や乾草でビタミンAを補給し続けた
- ◆ 配合飼料の原物重量あたり30%を籾米SGSと大豆かす(300g/日)に置き換えることも可能

## 試験結果



増体成績と枝肉重量

	1日あたり増体量	出荷時体重	枝肉重量
慣行肥育	0.77	782	499
早期肥育	1.02	841	531

単位: kg

飼料の食い込みは、早期肥育が4%多い

◆ 早期肥育区では血中ビタミンA濃度が高く維持でき、食い込みも良好。増体・枝肉重量も大きい！

		早期肥育	慣行肥育
枝肉等級	A-5 (頭)	0	1
	A-4 (頭)	2	1
	A-3 (頭)	1	1
BMS No. 分布 (頭)	BMS No.8		1
	BMS No.7		1
	BMS No.6		
	BMS No.5	2	1
	BMS No.4	1	
BMS No.平均		4.7±0.58	6.7±1.53
ロース芯断面			

### BMS No.とは？

霜降り度合いの指標。1~12まであり、数字が大きいほど霜降りが多い

	早期肥育	慣行肥育
肥育期間	19か月間	21か月間
回転率	111%	100%
1頭あたり収益	335千円 (112%)	299千円 (100%)

◆ 慣行肥育よりも赤身傾向の強い牛肉が生産できる

◆ 慣行肥育と比較して収益性にも優れる

お問い合わせ

畜産研究所 繁殖技術肉牛部 (TEL 0175-64-2233)